



第一礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	会衆
主の祈り		会衆	会衆
ブレイズ	「主は今生きておられる」 「叫べ全地よ」	会衆	会衆
聖書朗読	列王記上 11:1~8 (旧約聖書 p548)	司会	司会
祈禱		司会	司会
賛美	讚美歌 194	司会	司会
メッセージ	「ソロモンの 祝福と背信」	司会	司会
祈禱		司会	司会
賛美	新生 319	司会	司会
献金		司会	司会
報告		司会	司会
頌栄	新生 672b	司会	司会
祝禱		司会	司会



ユースゴスペル

フェスティバルへ合流

17:30 胡屋教会



ファミリー礼拝

お話し：渡真利千佳子姉

聖書：ヨハネ 15:1~11

メッセージ：「ぶどうの木の教え」

<巻頭言>

信仰の道

牧師 郭永東

信仰の道を歩むとき、私たちはしばしば「どのように始めるか」に心を向けがちです。けれども聖書は、信仰において本当に大切なのは「どのように終わるか」であることを教えています。

信仰の道は、始まりよりも終わりが大切な旅です。信仰とは一時的な熱心さではなく、最後まで走り抜く忍耐の歩みだからです。使徒パウロはテモテへの手紙第二第二章で、信仰者の姿を三つのたとえで語っています。

第一は**兵士**です。兵士は自分を召した者に忠実であり、日常のことに心を奪われることなく任務に集中します。同じように、キリストに召された私たちも、人生の中心を主に置き、揺るがず歩むことが求められています。

第二は**競技者**です。競技者は規則に従って競わなければ、勝利の冠を受けることはできません。信仰の歩みも神の御言葉という基準に従って最後まで走り抜くとき、真の報いを受けることができます。

第三は**農夫**です。農夫は種を蒔き、長い時間を忍耐して働いた後に、ようやく実りを受け取ります。信仰も同じように、目に見える結果がすぐに現れなくても、あきらめずに続ける忍耐が必要です。

忠実な兵士のように、節制する競技者のように、忍耐する農夫のように歩むとき、私たちの信仰は揺らぐことなく保たれます。神は、始めた人よりも、最後まで走り抜いた人の人生を通してご自身の栄光を現されます。だからこそ私たちは今日も信仰の道を黙々と歩み、最後まで完走する信仰を持ち続けたいものです。